

提出日：2019年5月17日

平成30年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名		ゲノム編集技術に適した細胞環境創出のためのトータルパッケージ開発	
研究代表者	氏名	篠原 美紀	
	所属機関名・部局名	近畿大学・農学部	
	職名	教授	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)		<input type="radio"/>	共同研究員
		<input type="radio"/>	超高磁場NMR 共同利用研究課題
		<input type="radio"/>	クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題
		<input type="radio"/>	客員フェロー
蛋白研受入担当教員名		篠原 彰	
<p>ゲノム編集技術による、細胞内でのゲノム改変反応メカニズムを明らかにすることで、ゲノム編集効率およびゲノム編集によってどのように改変するのかを制御するための創薬ターゲットを探索することを目的に解析を行った。その結果、DNA 二重鎖切断単鎖化に必要な因子がゲノム編集の効率を決めていることがわかったが、DNA 二重鎖切断単鎖化の機能とは分離することができることがわかった。また、DNA 損傷応答キナーゼの阻害条件ではヒト細胞においても酵母と同様に CRISPR/Cas9 システムによるゲノム編集が効率よく起こることを見いだしたが、部分的な機能阻害によってその効果が最大になる可能性があり、さらなる解析によってその分子機構を明らかにする必要がある。</p>			

※本様式は、“拠点事業成果報告”として、拠点ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限：令和元年 5 月 17 日（金） ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp

